現認書・事実証明書の記載例

別記様式第１号

現認書・~~事実証明書~~

所属団体部局名	鳥取県○○保健所
被災職員氏名	鳥　取　太　郎
現認・調査年月日	○○年○○月○○日　午　前・後　○　時　○○　分ごろ
現認・調査場所	○○保健所検査室

状　況

午後２時過ぎ、鳥取太郎さんが検査後のビーカーを洗っておられましたが、「アッ」と言われたので近寄って見たら右手拇指のつけねあたりから血が出ていました。

応急処置をした後、○○病院へ治療に行かれました。

上記のとおり　現認した。・事実調査したので証明する。

○○年○○月○○日

現認者

住所　○○市○○町○丁目○番地

氏名　○　○　○　○　㊞

職業（勤務先）○○保健所試験検査質

事実証明者

住所

氏名　㊞

職業（勤務先又は役職名）

私印

（注）不用の文字を抹消して使用すること。

記載上の注意

1　現認者は、災害発生の現場に居合わせた者であればよく、職員に限定されない。

2　災害発生を目撃した状況をできるだけ詳細に客観的に記載する。

3　災害発生後の処理の状況についても、簡単に記載する。
　例えば、応急手当を行ったとか、病院に行くよう指示したとか。

4　現認者本人が記載することを原則とする。

5　現認者がいない場合は、所属長等が災害発生後に事実調査を行い、事実証明者としてその状況を記載し、証明すること。